

チームエッフェガーラ

津村 知明 レースレポート

2010年8月1日

IMPカートレース第5戦

SSクラス(参加26台)

CIRCUIT : つま恋カートコース

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BS SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 月岡 雅隆(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 7位 (34.036)

予選 6位

決勝 DNF

レースに向けて

11月に開催されるSL全国大会を見据えて今回つま恋レースに出る事にしました。

コース自体は一度GWに走った事があり、その時は凄くパンビーで抜きどころも危険な感じで昔ながらのコースだなあという印象を受けました。

その辺りを頭に入れて、明日のレースへ向けた調整と前回苦手だった後半部分と立ち上がりを意識して前日は走りました。

前日はペース的には悪くなかったが、なかなか抜けないという課題が残りレースを迎える事に。

公式練習・TT

公式練習ではつま恋でNEWタイヤを履いて走るのが初となるので、まずは感触になれることに専念ただ、おいしい所を使いたく無かったので、ある程度掴めたところで走行を終了。

トップと遜色ないタイムが出せ、フレームの動きも良かったので良い感触で公式練習は終える。

しかしTTになると路面のコンディションが変わり、2コーナーでプッシュアンダーがひどく何度も飛び出してしまい、まともにタイムアタックできませんでした。

唯一1LAPだけキレイに走行する事ができたので何とか7番手タイムが出せたが、かなり焦りました。

予選

スタート時にエンジンを被らせてしまい7番手→10番手付近まで落ちてしまう。

ただ、ペースが良かったのと周りが荒れたレースを展開していたので 順当に順位を上げていき6位でフィニッシュ。TTで手こずっていた2コーナーの走り方をレース中に改善する事ができ ここで前のカートに詰められるようになった点は凄く良かったと思います。

決勝

スタートではまたまた失敗。6番手→10番手以降に沈む。

タイミングが上手く合わせられず、肝心な所でエンジンが吹かなくなり大きく出遅れる。

何度も同じ失敗をしているのでイイ加減克服しなければならない重大な課題です。

その後は、インフィールドでは前のカートに追いつくのにストレートで一気に離されるというイヤな展開が続きました。前日から時々起こっていたが解決できなかった。そして迎えた6週目の1コーナーで後ろのマシンにパスされそうになった際、避けたつもりが接触しカートごとクラッシュパットへダイブ！！

20LAPもある決勝をわずか6LAPでレースを終える事になりました。

レースを終えて

ここ数戦、まともに完走できないレースが続いているので何とかしなければいけないと思います。

決勝をたった6LAPで終えてしまいせっかく静岡までやって来て何をやってるんだあ～って悲しくなりました。しかし、確かな手ごたえを感じられた事、問題点、SL全国大会までに克服すべき課題が明確になった点は来て良かったと思いました。

2日間、自分達のお守と監督代行兼2台分のメカニックをして頂いた月岡さんには感謝します。

今回の経験を生かして、SL全国大会では良い結果が残せるように頑張りたいと思います。